

自律の気概あふれる まちをめざして

～ この町に誇りと愛着を持って
皆さんの知恵を行動に ～

企画振興課 ☎526552 有線⑤8963

- ・子育て支援対策と
教育環境の整備充実
- ・保健・介護予防対策の充実
- ※ごみの減量化・
資源化の促進
- ※防災・防犯対策の強化
- ※観光資源の活用と
地域経済の発展
- ※公民館を核とした
協働のまちづくり
- ・持続可能なまちづくり
のための行財政運営

住民懇話会では、委員の皆さんから提案いただきました、まちづくりの課題を7つの項目に整理し、5月から順に議論をされています。
6月の懇話会では、左の4つの※印テーマについて、住民の視点から熱心な議論がされました。

「ごみ減量は 「もったいない」から

平成16年度に日野町内で出た「ごみ」の量は、約687万トンありました。その「ごみ」を処理するのに約1億6千万円の経費がかかっています。

「ごみ」を資源化することや、毎日の暮らしの見直しにより「ごみ」を出さない工夫、個人や家庭での毎日の小さな「もったいない！」意識の積み重ねが「ごみ」の減量化への第一歩、この意見が出されました。

「わづらわしい」を 安心安全のつながりへ

安心して地域に住み続けるためには、日ごろからそこに住んでいる人の顔が見える近所のつながりが大切になってきます。

そのような隣り近所のつながりや地域の中での見守り（人の目）を、「わづらわしい」と感じる方もおられるかも知れませんが、そのつながりこそが安心安全な地域づくりにとって大切なつながりです。



▶上野田防災マップ

がりであると再確認されました。
また、災害時に備えた「地域安全マップ」づくりで地域への関心や愛着心を育てる大切さについても意見が出されました。

郷土の豊かな産物を 地元で消費する

豊かな農地に恵まれ、そこで米・茶・野菜・牛乳・牛肉などの農畜産物が生産振興されています。しかし残念なことに、



▶なんび青空市場

地元のスーパ―や小売店では、町内で作られた農畜産物を販売するしくみづくりが十分にできていません。

作った人の顔が見える安全な地元産の農畜産物を消費するしくみづくり、学校給食でも地元産の農畜産物を安定して使えるしくみづくりについて意見が出されました。

町の恵まれた資源は人を引き付ける資源とも言えます。体験型の農業や林業などによる取り組みで、交流と発展へつなげていく方向性についても意見がありました。

「これが」の公民館の 役割と人材

日野町の公民館活動は全国に誇れる素晴らしいもので、これまでの地域住民の皆さんの活動により、子どもから高齢者まで皆さんの生涯学習の拠点として、その役割が定着しています。

また、地区の自治会活動や地区社会福祉協議会活動などの拠点としての役割も併せ持っています。

このように、地域に密着した公民館の運営を支える人材をどのように発掘し、ネットワーク化していくのか、また、これからの公民館の役割について議論がされました。

まちづくりは みなさんの参画から

多くの地区住民がそこに集い、学び合い、人と人とのつながりをつくることを一か所で行うことが公民館の強みといえます。

自分たちの公民館で、人材が人材を育てるといふサイクルにより、これからの地域の力をどう活かすのかが課題といえます。住民の皆さんのまちづくりへの参画で、公民館を核とした協働のまちづくりをめざします。